



- ・連絡配管は、キャピラリチューブを使用する。
- ・連絡配管にはループ部を設ける。(形状、位置は自由)

・()の付いた寸法は参考表示である。
実際には、競技当日に指示される寸法で加工すること。

※保温仕上は感温筒を含み、気密試験終了後に行う。

